

令和4年9月28日(水)

南日本新聞掲載

保護者の方との放課後練習



衣装に着替えて準備万端



冷水さん・原さんの

唄に合わせて



運動会はつらつ舞披露



練習の成果を披露する児童＝25日、長島町の蔵之元小学校

棒踊り 親子で継承 長島・蔵之元小

長島町の蔵之元小学校4～6年の児童28人が25日の運動会で、地域に伝わる棒踊りを舞った。保護者らが放課後に指導役や練習相手を担当。新型コロナウイルス下で集落での奉納が中止となる中、親子で懸命に伝統をつないだ。

例年、町内一円で行われる8月8日の「御八日踊り」で奉納後、運動会で踊っているが、感染防止のため奉納は3年連続中止に。その間も児童が動きを忘れないようにと、運動会での披露は続けてきた。

今年も9月に入り練習を開始。保護者の中には踊りを経験した同校OBもあり、陣形や棒の動かし方を丁寧に教えた。当日は保存会員の朗々とした歌声が響く中、児童らが息の合った棒さばきを見せた。

6年鈴木心那さんは「練習の成果が出せた。将来は歌も歌ってみた」。PTA会長の小畑将志さん(36)は「短い練習時間の中で良く頑張ってくれた」と話した。(加藤武司)